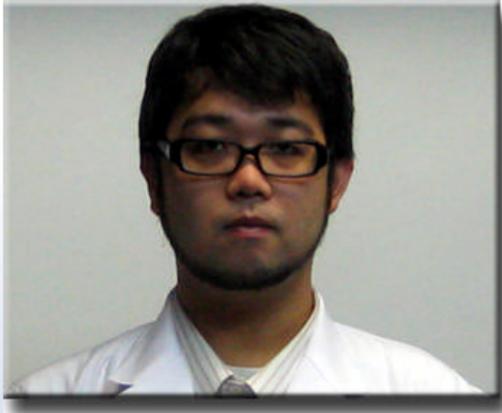


# 中島医師 地域医療研修



12月1日から奄美中央病院にて私の地域医療研修は始まりました。離島フィールドで、また友人と遊びにと、夏には何度も訪れたことがある奄美でしたが、冬は初めてでした。思った以上に暖かく窓を開けて寝る日々でした。他院所での研修は実質的には初めてであり、人見知りしやすく物怖じしてしまいやすい私としてはシステムや人に慣れるまでに時間がかかることが心配でした。しかし、医局先生方、病院スタッフの方のお気遣いによりスムーズに研修を始めることができました。



奄美中央病院では、病棟・外来・訪問診察・当直と様々な研修をする中で、地域の中で医療を行うこと、チーム医療について幅広く学ばせて頂きました。病棟で患者様を担当することで、患者さま本人・そのご家族と話がゆっくりでき、病気に対するとらえ方、家族関係の在り方、病院に期待することなどを知る機会となりました。その病院が医療活動を行っている地域性のことを知る



ことで、より患者様に満足していただける医療に近づけるものだと思います。そのためは、特に奄美にきて日が浅いものとしては看護師・事務の方など多職種からの情報交換が欠かせないものであることを実感しました。たださえ、知識不十分である中研修させて頂き、迷惑をかけることがたくさんあり申し訳なく思います。とても感謝しています。

徳之島診療所では、所長である町元先生の変身(?)に驚きに始まった研修でした。到着した日の午後到天城町までの訪問診察に同行させていただきました。午後からで、しかもあの距離で17件の訪問診察では、医療機関の不足を感じました。翌日には、小児の沖縄への搬送に同行いたしました。もちろんヘリコプターです。痙攣を繰り返す患児の心配とヘリコプターの心配で頭の中はぐちゃぐちゃでした。徳之島での小児の入院施設を切実に願いました。



南大島診療所では数多くの一般外来研修をさせていただきました。慣れない電子カルテに戸惑いながら始まりました。これまで一般外来はほぼ当直だけであったので不安だったのですが、所長である松本先生と研修医の母である坂口先生のカルテチェックがしっかりとされているので安心できました。診療後のフィードバックも大変勉強になりました。そして、やはり地域を感じることもありました。患者様に翌日も来ていただこうと思ったので、「自



宅は遠いのですか」と尋ねたところ「●●です」という返答がありました。本島なのか、遠いのかすらわかりませんし、交通機関も分かりません。事務の方や看護師さんに確認しながら診療し、大変時間がかかってしまいました。

全体を通じてたくさんの方に温かく助けていただき、充実した研修を行うことができました。大変感謝しています。本当に有難うございました。

